

2016年7月1日

教員各位

メディア教育・情報システムセンター所長 永松 礼夫  
メディア教育部会長 穂積 和子

## 2016年度 コンピュータ演習室環境利用調査について（ご依頼）

標記につきまして、2017年度コンピュータ演習室環境の整備のために、下記のとおり、利用希望調査を行いますので、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

### 記

●調査対象者：全教員

2016度にコンピュータ演習室環境を利用または2017年度利用予定の授業担当者（教員）  
につきましては、必ずご回答下さいますようお願いいたします。

●対象演習室：横浜キャンパス（6、7、23号館PC演習室）  
湘南ひらつかキャンパス（11号館PC演習室）

●調査内容：下記のように8項目ございます。全てにご回答をお願いいたします。

調査項目1 コンピュータ演習室利用について

調査項目2 2017年度コンピュータ演習室の演習環境の変更について  
（WindowsとOfficeのバージョンアップ）※注

調査項目3 2017年度にコンピュータ演習室から削除予定のソフトウェアについて

調査項目4 コンピュータ演習室ソフトウェア利用調査

調査項目5 2017年度新規導入希望ソフトウェアについて

調査項目6 2017年度導入希望ハードウェア（周辺機器を含む）について

調査項目7 コンピュータ演習室についてのご意見・ご要望

調査項目8 その他（dotCampus、eポートフォリオ、office365について）

●調査方法：WebSt@tionの調査・アンケート機能の利用

WebSt@tionにログインし、画面右下部の「調査・アンケート」欄から「2016年度コンピュータ演習室利用環境の希望調査」を選んでご回答下さい。

WebSt@tionのURL：<https://kk-web.kanagawa-u.ac.jp/>

WebSt@tion上のアンケートで無く、紙ベースでの提出をご希望の方は担当者宛にご連絡ください。

●回答期間：2016年7月1日（金）から7月31日（日）まで

●この調査に関する問合せ先

横浜キャンパス：情報システム推進部（担当・林）

電話：045-481-5661(内2207)

E-mail: fs111688ad@kanagawa-u.ac.jp

湘南ひらつかキャンパス：情報システム推進部（担当・鈴木）

電話：0463-59-4111（内3113）

E-mail: suzuki05@kanagawa-u.ac.jp

※注 調査の趣旨などについて、次ページに説明資料があります。

以上

## 2017年度コンピュータ演習室の演習環境の変更について（資料）

### (1) 趣旨など

本調査には Windows10 や Office2016 を本学のコンピュータ演習室に導入する時期をいつごろにするかについての設問があります。この資料は、この調査に回答する際の参考資料となることを目的としています。

大学のコンピュータ演習環境の OS や Office のバージョンを、マイクロソフト社の提供時期に応じて変更していく必要は必ずしもありません。またバージョンを変更することによって、教材を変更する必要があること、また、シラバスへの変更を伴うことなどから、毎年、10月までには次年度のコンピュータ演習室の環境を確定しなければなりません。ただし、2017年度の OS 変更については、導入しているソフトウェアへの更新準備の対応等により困難な状況です。

なお、学生に対しても、アンケート調査を行う予定です。

これらの情報を総合して、Windows や Office の新しいバージョンの導入時期を確定していく予定です。

### (2) Windows10 や Office2016 への変更にあたっての問題点と解決策や現状など

項番	変更による問題点	解決策または現状
1	ユーザインターフェース（画面）が Windows7 と異なる	Window7 のバージョンに近い形に変更可能
2	学生が画面を変えてしまうことが可能であり、演習の一斉授業が行いにくい	ログイン時、初期化する
3	Windows7 で動いていたソフトが Windows10 で動かなくなるものがある	現在調査中
4	ハードディスク等の容量が不足する可能性がある	同一機能のものはなるべく1つにする
5	学生の自宅のパソコンが Windows7 の可能性がある	Windows10 へ誘導されている可能性が高い
6	Office2010 から 2016 へと 2013 を飛び越えてのバージョンアップとなる	画面上のボタンなどには大きな変化は無い ( <a href="http://www.office2016.jp/3259">http://www.office2016.jp/3259</a> )

### (3) マイクロソフト社の Windows と Office のリリース日とサポート終了日と本学の利用の年表

Windows 種類	マイクロソフト社			本学の利用実績と可能性		
	リリース日	サポート終了	延長サポート終了	利用開始	利用年数	パソコン入替
WindowsXP(SP2)	2004年9月	2009年4月	2014年4月	2005年4月	7	2009年8月 2014年8月
Windows Vista	2006年11月	2012年4月	2017年4月			
Windows7	2009年10月	2015年1月	2020年1月	2012年4月	5	
Windows8	2012年10月	2018年1月	2023年1月			
Windows10	2015年7月	2020年10月	2025年10月	2017年4月		
Office 種類	リリース日	サポート終了		利用開始	利用年数	2019年8月 (予定) 【パソコンは5年 周期で入替を実施】
Office2003	2003年10月	2014年4月		2005年4月	9(※)	
Office2007	2007年1月	2017年4月		2008年4月	6(※)	
Office2010	2010年6月	2020年10月		2012年4月	5(※)	
Office2013	2013年2月	2023年4月				
Office2016	2015年9月			2017年4月		

灰色部:2017年度に切替えとした場合の利用年数

(※)Office 2003、2007、2010 は同時に PC にインストールされ利用していた時期があります。

### (4) 学生が自宅などで利用しているパソコン環境や企業での Office のバージョンの現状など

2014年12月より Office365ProPlus が学生と教職員に提供され、Office365 のアプリケーション（Word・Excel・PowerPoint など）のソフトウェアを5台まで無償でダウンロードして、自宅で利用可能な状態になっています。この Office のバージョンは2015年11月より Office Professional plus 2016 が追加され、Office2013 は提供が停止されています。したがって今年度の新生がこの Office のバージョンを導入していれば、自宅のパソコンは Office2016 になっている可能性があります。実態については学生アンケート（2016年9月～10月実施予定）によって、Office2016 を利用中の学生の割合を調査する予定です。Office2016 にすることによるメリットとしては、ゼミで作成したファイルを協同で編集可能などのグループ作業に便利になることなどがあります。なお、アイ・ティ・アールの2015年10月の調査によると、国内企業における業務での Office バージョン利用の第1位は2010が44.8%、2013が33.2%、2007が11.6%、2003が3.1%、2016は2.7%であるとのこと。